
初恋

y?i

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

初恋

【Nコード】

N2368M

【作者名】

y?i

【あらすじ】

.....剣道一本！業界で知らないものはいないと歌われる。「宮嶋 琴」MIYAZIMA-KOT.....高校1の美少年。スポーツ、勉強何でも出来る王子様は、仮の姿！？サッカー少年「上地 啓」KAMIZI-KEI.....

「あの日から俺は琴を、俺のにするって決めてた。」

）
...

「そんな顔でこっち見んなよ……。」

）
…

「好きなんだよ……」

）
…

啓のもう攻撃！！

必見！！（*—*）L

初恋 1

「いつてきまーす。」

ドアを勢いよくあけて私は走り出す。今日から入学する「桜ノ宮高校」に向かって。

ふう……

なんとか間に合ったけど……早く体育館……！！

キンコーンカ…

あゝヤバイ、ヤバイ…

ようやく体育館に着いた私は体育館のドアを思いきり開けた。

ドンッ

一瞬、全員の視線を集めて私はゆっくり自分の席を探し始めた。

あつた、あつた！つと

席につくと、教頭先生らしき人が話出す。

もしかして、わたし待ちだったかな……？

「ちょっとー…こんな日に遅刻？琴はまったく…」

「遅刻じゃないし…ピッタリだし…！！」

「ハアー…」

呆れたような目で見てくる、私の幼なじみコト大親友の「田中美香・タナカミカ」

頭の良い美香と同じ高校に通うために必死で勉強する…… つもり
だったんだけど…

剣道の推薦で入れちゃった!!

そう！私は剣道一本！業界で知らないものはいないと歌われる…
「宮嶋 琴」様なのです。

…ってちよつとナルシストすぎた…？

じゃあそろそろ、校長の話でも…
ってもうおわってるし！！

『それでは次に、生徒代表の言葉につづります。生徒代表、上地くんお願いします。』

『「キヤー」キヤー』

つるさっ…ナニコレ…

『えー皆さん、今日は入学おめでとうございます。じーじ.....
.....終わります』

『「キヤー」キヤー」.....」えーもう.....キヤー.....』

『えー以上で入学式を終わります。』

一部を除き！！、私の入学式は無事に終わっていった。

でも、同時に琴の波乱な高校生活が始まった…

初恋 2

「琴々さっき啓様出て来たとき固まっていたでしょ!」

「啓様?.....って?あの女子が騒ぎ出した時?.....うるさかったな?.....」

「はあ...本当にも...」

「あゝ!ここじゃない? 教室!」

へっ中学の教室とあんま変わらないな

今、美香と一緒に教室に向かったところ。

私達は偶然にも同じクラスだった！ ラッキー！

「じゃあ、席行くね。」

「うん。じゃあ後で。」

そして、私は自分の席に着いた。

隣の席はみつ編みの可愛い女の子で、いろいろ話して友達になった。

そして、担任のナガイ話が始まる…。

『え、皆さん入学おめでとう！皆さんは寮生活をしてもらってますが………』

そう。この高校は全寮制！
部屋どんなところだろうな

『それでは、今から寮の番号を発表します。』

...

『宮嶋琴、902号室』

??何か番号急にとんでない?303、304……902!?

『え、宮嶋は推薦入学なので部屋は別だ。』

え！ 私だけとか……美香と離れちゃったじゃん……。

『それじゃあ、これからそれぞれの寮にいつてもらう。階によって寮長がいるから、寮長にいろいろ教えてもらって。明日にそなえてくれ、今日はこれで終わりだ。』

そして、私は寮に向かった。

「琴！良いな！推薦入学！」

「え、何で？美香と離れちゃったんだよ！」

「でも、寮長は啓様でしょ」

「啓様？……さっき言ってた人？」

「そう！！スポーツ、勉強、何でも出来る王子様！！そして私がこの高校に入学した理由……」

「え……！！」

美香をここまでさせるなんて、啓様って何者！？？

初恋3

「じゃあね。美香、また明日ね。」

「うん。バイバイ、いいな、啓様……」

まだ言ってるし……

階段をのぼって、のぼって…

「長い…」

902だから1番上の階…
まあ、良い運動になるけどね！

最後階段をあがって行こうとしたとき。 私を見下げる人が見えた。

「君、推薦入学なんだ。そんな風には見えないけど。」

その人は馬鹿にしたように言った。

は？
…

私は階段を勢いよく駆け上るとソイツに向かって、叫んだ。

「アンタ、人を見た目だけで判断しないで！！自分だって何その長い髪、それにチャラチャラしちゃってさ！アンタこそ推薦入学なんてあり得ない！！」

はぁー！
…

ムカつくー！

「フッ…！お前面白いな…！何号室だよ。」

「902だけど…」

「俺の部屋の隣だな!!」

は~~~~~!?

私の寮生活が……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2368m/>

初恋

2010年10月9日22時30分発行